

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	“TAFRO 症状を伴う特発性多中心性キャスルマン病”（iMCD-TAFRO）患者を対象とした全ゲノム解析による遺伝的背景の後ろ向き・前向き探索研究		
1. 研究の目的と方法	この研究は、TAFRO 症状を伴う特発性多中心性キャスルマン病の患者さんを対象に、遺伝子情報を詳しく調べるために全ゲノム解析を行い、病気の背景にある遺伝子異常を見つけ出すことを目的としています。 TAFRO 症状を伴う特発性多中心性キャスルマン病という病気についてはまだわからないことが多く、現在も多くの研究が行われています。この研究では、同意をいただいた患者さんの診断時のリンパ節の一部および口腔粘膜細胞をご提供いただき、遺伝子情報を取得することにより、この病気の遺伝学的な背景を明らかにし、より良い治療方法の開発などに役立てることを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	TAFRO 症状を伴う特発性多中心性キャスルマン病の患者さんで、2013年4月1日～2025年3月31日の間に附属病院にて治療を受けた18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	診断時のリンパ節の一部	
	(2) 試料の取得の方法	すでに診断時に採取し保管している試料を使います。文書による同意が得られた場合には口腔粘膜細胞の採取を追加で行います。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、今回新たに取得する遺伝子情報	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。 また診断時のリンパ節の一部および口腔粘膜細胞から DNA を抽出し検査します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科
		氏名	山内浩文
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	国立がん研究センター研究所 がん RNA 研究分野 分野長 吉見昭秀 自治医科大学附属病院 総合診療内科 教授 松村 正巳		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者および検査受託会社のもとに、以下の方法で集められ DNA の抽出および解析を行います。</p> <p>診断時のリンパ節検体が、紹介元の機関にある場合には患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除した後、5(1)に記載された研究代表者のもとに集められます。</p> <p>提供先の機関名：国立がん研究センター研究所 シーケンス業務委託機関名：選定中 提供方法：追跡可能な方法で郵送、手渡し、インターネットストレージ等 試料・情報の利用または提供予定開始日：2023 年 12 月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液学講座 研究責任者：助教 山内 浩文（やまうち ひろふみ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3252） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。